

キリスト教主義大学における建学の精神 — 立教大学の取り組み —

立教大学は、1874年にアメリカ聖公会の宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が設立した、聖書と英学を教える私塾「立教学校」から始まりました。立教大学の理念や歴史、そして現在の取り組みなどを講師から聞きながら、現代におけるキリスト教主義大学の課題や使命を共に考えていきたいと思えます。

● 日時：2018年 **5月17日**（木）16:40 — 18:40

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

● 講演：西原廉太（立教学院副院長、
立教大学 文学部 教授）



司会：小原 克博（同志社大学 神学部 教授、
良心学研究センター長）

コメンテーター：

三木メイ（同志社大学 キリスト教文化センター 准教授）

中村信博（同志社女子大学 学芸学部 教授）

■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター

CONSCIENCE

E-mail : rc-csc@mail.doshisha.ac.jp <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

良心を世界に—良心を覚醒させる知の連携と知の実践 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。

講師略歴

西原 廉太 (にしはら れんた)

1962年、京都生まれ。

京都大学工学部卒業。立教大学大学院文学研究科組織神学専攻修了。博士(神学)。

現在、立教学院副院長、立教大学大学院キリスト教学研究科委員長・教授。前立教大学副総長・常務理事、前文学部長。専門は、アングリカニズム(英国宗教改革神学)。桜美林学園理事、聖路加看護大学理事。世界教会協議会(WCC)中央委員、聖公会一改革派国際委員会(IRAD)委員、聖公会ルーテル教会国際委員会(ALIC)委員、世界聖公会大学連合会(CUAC)理事。前日本基督教学会専務理事。キリスト教学校教育同盟常任理事、キリスト教学校教育同盟関東地区協議会代表理事。日本聖公会中部教区常置委員、同聖職養成委員長、同聖職試験委員。日本聖公会中部教区岡谷聖バルナバ教会管理牧師。世界宗教者平和会議(WCRP)平和研究所副所長。日本クリスチャンアカデミー評議員。日本キリスト教協議会(NCC)元副議長、現常任常議員。日本キリスト教協議会(NCC)信仰職制委員会委員長。

【主要単著】

『聖公会の職制論－エキュメニカル対話の視点から－』(聖公会出版、2013年)。

『続・聖公会が大切にしてきたもの－宣教の課題と可能性－』(聖公会出版、2012年)。

『寄せ書きのある旗－A Miraculous Story- Tahei Watanabe's Yosegaki Flag』(立教ブックレット、立教学院、2012年)

『聖公会が大切にしてきたもの』(聖公会出版、2010年初版、教文館、2016年第5版)。

『現代に生きるキリスト教教育』(ドン・ボスコ社、2009年)。

『リチャード・フッカー～その神学と現代的意味』(聖公会出版、1995年)。

【主要共著】

『文化接触の創造力』(「キリスト教とアイヌ民族の邂逅をめぐって－バチエラーのアイヌ伝道と聖公会のアイヌ観を中心に－」)(久保田浩編、リトン、2013年)。

‘*Blackwell Companion to the Anglican Communion*’ (The Anglican Church in Japan (The Nippon Sei Ko Kai; NSKK))(Virginia Theological Seminary 編, Blackwell: Oxford, 2013).

『ミッションスクールと戦争－立教学院のディレンマ－』(「元田作之進と天皇制」)(老川慶喜他編、東進堂、2008年)。

『総説キリスト教史3 近・現代篇』(「イギリスのキリスト教」「エキュメニズムに進むキリスト教」)(日本キリスト教団出版局、2007年)。

‘*Other Voices, Other Worlds*’ (Sexuality and the Church's Understanding of Authority)(Terry Brown 編, Darton, Longman & Todd: London, 2006) .

キリスト教主義大学における建学の精神

—— 立教大学における取り組み ——

【1】 はじめに

【2】 立教大学の歴史と「建学の精神」 — 新任職員研修会用スライドから —

【3】 立教大学におけるキリスト教教育の考え方と「建学の精神」

- 1) 立教大学の概況
- 2) 立教学院「寄付行為」から
- 3) 理事会構成におけるキリスト者比率
- 4) ローワン・ウィリアムズ、カンタベリー大主教講演（2009年9月）から
- 5) フランク・グリズウォルド、米国聖公会総裁主教講演（2009年11月）から
- 6) 立教大学学士課程教育答申（2008年12月）から
— 「建学の精神」の標示としての "PRO DEO ET PATRIA" の再確認
- 7) 全学共通カリキュラム総合教育・2012年改革案（2009年11月）から
- 8) 「立教大学キリスト教学研究科」設置・部長会提案文書（2007年12月）から

【4】 立教大学の「グローバル化」とキリスト教をめぐって

- 1) いわゆる「グローバル化」とは何か
- 2) 「聖公会」とグローバル
- 3) 「世界聖公会大学連合」(Colleges and Universities of the Anglican Communion: CUAC)
- 4) ケンブリッジ大学エマニュエルカレッジとの協定

【5】 おわりに

— 直面する課題と可能性 —

良心学研究センター主催 公開シンポジウムのご案内

■ 6月12日（火）16:40 - 18:40、京田辺キャンパス ことば 言館

「生物進化における良心」

講師：元山 純（同志社大学大学院 脳科学研究科 教授）

コメンテーター：林田 明（同志社大学 理工学部 教授）

廣安知之（同志社大学 生命医科学部 教授）

貫名信行（同志社大学大学院 脳科学研究科 教授）

■ 7月12日（木）16:40 - 18:40、今出川キャンパス 同志社礼拝堂

「法と良心——「良心の自由」を中心に」

講師：遠藤比呂通（弁護士、憲法研究者）

コメンテーター：深谷 格（同志社大学大学院 司法研究科 教授）

中西久枝（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授）